

沖縄県国営沖縄記念公園内施設（海洋博覧会地区内施設）に係る指定管理者制度運用委員会
平成 31 年度指定管理者モニタリング実施結果の検証について

1. 日時 令和 2 年 8 月 13 日～8 月 20 日（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会議形式ではなくオンラインも活用した個別ヒアリング形式で実施）

2. 委員（7 名中 7 名個別ヒアリングを実施）

- (委 員) 荒井 一利 (株)グランビスタホテル&リゾートアクアリウム事業開発統括部長兼
鴨川シーワールド国際海洋生物研究所 所長
- (委 員) 今井 秀行 琉球大学理学部 准教授
- (委 員) 小山 岳史 小山岳史公認会計士事務所
- (委 員) 竹村 明洋 琉球大学理学部 教授
- (委 員) 東 良和 (一社)日本旅行業協会 理事
- (委 員) 平野 典男 琉球大学国際地域創造学部 教授
- (委 員) 吉岡 基 三重大学大学院生物資源学研究科 教授
- (事務局) 沖縄県都市公園課、指定管理者、(一社)日本公園緑地協会（業務受託者）

3. 議事 平成 31 年度指定管理者モニタリング実施結果の検証について

4. 検証内容

- ①指定管理者及び県が実施するモニタリングは適正に行われているか。
- ②指定管理者に対する県の指導・助言は適切に行われているか。
- ③アンケート、苦情等に対する対応は適切か。

5. 議事の概要

沖縄県国営沖縄記念公園内施設（海洋博覧会地区内施設）のモニタリングについて、大きな指摘はなかった。また、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて、令和 2 年度以降の運営についてのアドバイスをいただいた。

6. 審議事項（主な質疑応答） ○：委員 ■：事務局

- ：前年度比、計画計画比が掲載されて比較できるようになっているが、本来は指定管理期間の 5 年間の内容を評価するものだと考えるので、前年度との比較だけで評価するのは難しい。
- ：モニタリングシートは県の指定管理者制度導入施設で統一の様式を用いているが、次年度以降どのように取りまとめていくか事務局内で検討したい。
- ：県内の有料観光施設の誘客は美ら海水族館が牽引役となっているので、県施設だから休館するというのは考え直して欲しい。むしろ「with コロナ」にふさわしい、感染予防策等のモデルケースとなるようなマネジメントに取り組んで欲しい。
- ：閉館等は、警戒レベルに応じた対応ができるよう見直しを検討したい。